

現地校「東風東路小学」との交流会

広州日本人学校では、国際理解教育の一環として、現地校との交流を行っています。今回は「日本を紹介しながら、互いに交流し合い、親しくなろう」というテーマのもと、小学部では6月5日「東風東路小学」を本校に招待しました。開会式は全員で、東風東路小学校歌を歌いました。広州日本人学校の児童も、この日のために一生懸命中国語で練習を重ね、本番は素晴らしい歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。低学年では、日本の遊び(すごろく・折り紙・けん玉・輪投げなど)を一緒に行い、ソーラン節を披露したりして、日本の文化を紹介しました。高学年では、名刺交換やインタビューを通して、日頃中国語の授業で習ったことを生かす場になっています。同じ空間でともに活動することにより、言葉の壁を越えてお互いに教え合い、学び合う

場面が見られました。

子ども達の感想からは、「はじめは、言葉が通じるか不安だったけれど、中国語だけでなく英語やジェスチャー、絵や文字に表すことで通じたので、伝えようとする気持ちが大切だと感じた」「中国語を話して通じたことで自信がついた」「相手に楽しかったと喜んでもらえて嬉しかった。次回会うまでもっと中国語を習得したいと思った」など、こうした交流会を通して、国際感覚が身につくと共に、外国語を学ぶ意欲にもつながっていると感じます。

今後も、現地校との交流を継続し、現地理解を深めるだけでなく、お互いの文化を尊重しあう心を磨き、本校の教育目標である「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒の育成」をめざして参ります。

